

【資料2】

朱雀こども園の民間移管に向けた
保護者意見募集結果

奈良市子ども未来部子ども政策課

朱雀こども園の令和8年度在園児保護者アンケートの結果

1 アンケートの概要

朱雀こども園の民間移管に際して、民間移管後の園運営について、移管先法人に今後も大切にしたい事項や新たに期待や希望することについてアンケートにより意見聴取を行いました。

2 回答内容

・アンケートの意見について、下記の項目に整理しました。

「教育・保育方針」、「保育士」、「保育環境（施設整備）」、「保育時間」、「保育料以外の費用負担」、「給食内容」、「園行事」、「保護者と園のかかわり」、「地域との連携」、「その他」

※重複する意見であっても、回答者が異なる場合は省略せず記載しています。

1. 園運営の継承について（今後も大切にしたい事項について）

意見分類	意見内容
教育・保育方針	現在の朱雀こども園では、子ども一人ひとりをよく見て、その子の気持ちや育ちを大切にしたい保育をしてくださっていると感じています。
	子どもを一つの型に当てはめたり、大人の都合だけで動かしたりするのではなく、それぞれの子どもの姿を見ながら、自分で考えたり、試したりすることを見守り、必要な時には支えてくださっています。
	「子どもを大切にする」「主体性を大切にする」ということが、方針として掲げられているだけではなく、日々の先生方の関わりの中で感じられるところが、朱雀こども園の良いところだと思います。
	子どもの気持ちや発達を見ながら、その子自身が育っていく力を大切にする現在の教育・保育のあり方を、今後も大切にしていきたいです。
	・柔軟な形での担当制の中で、特定の保育者がゆったりとしたかかわりをもつ。 ・一人一人の気持ちを温かく受け止め、愛情豊かな環境の中でゆったりと過ごせるようにする。（HPより指導の重点） 教育保育方針は全体を引き継いで欲しいが、特に上記のような、【柔軟な形での担当制】や、【愛情豊かな環境の中でゆったりと】過ごせるようにして欲しい。
	・安心できる環境の中で、子ども一人ひとりがのびのびと自分らしく過ごせる園 ・遊びや生活を通して、自分で選び、考え、行動する力を育む

	・人との関わりを大切にし、互いを認め合い、思いやりのある心を育む
	保育室での手作りのおもちゃや夏祭り参観での手作りのゲーム(ボーリング、輪投げ、もぐらたたき?)等色々な面で工夫されていると思います。 給食やおやつも手作りのものが多いように感じ子供の満足度と栄養面のバランスの両方を満たしてくれていると思います。
	保護者や子ども達が安心して過ごせるよう保育してもらいたいです。子ども達が自ら楽しめる保育に取り組んでももらいたいです。
	自然に触れる機会がある保育を希望します
	戸外遊びを沢山取り入れていたり、遊びからいろいろと学んでいると感じている。今の方針から大きく変わらないと嬉しい。
	現在の方針「心身ともに健康で、主体的に活動できる子ども」の育成を大きく変えず、同じような方針の元で運営を続けて頂きたいと思います。
	一人ひとりを大切にする方針、園児のその日の様子などをすぐに共有してくれることなど継続して欲しい
	移管するからには良い方向に変わってほしい。質が落ちたと思いたくない。
	個々それぞれの事を把握し、色々な事を教えてほしいです。 今まで通りきちんと危ない事をした時、してはいけない事をした時などダメな事はダメと叱ってほしいです。
	現在の保育方針にある、「身近な自然とかかわり、生命を大切にする子どもを育成すること。」は郊外にある保育園としてよい点の一つだと思うので、継続していただきたい。 また、先の見通せない時代に対応できるよう、主体的に考えることができる力をはぐくむ教育・保育をして頂きたいと希望しています。
	全体として大きな目標を掲げながら、一人一人の子どもに合わせた指導をしてくれている点。
	今の方針を大切にした上で新たに考えてもらいたい
	現在の幼児棟での学びなどを引き続き変わらぬ形で実施できるようにしてほしいです。ものづくりや道徳的なことなど。
	特別すごいという事ではなく日常での関わり方、日々の生活でされてる事をいつも子ども園の先生方やお友達からたくさん学んでいると思います。そのまま変わらず今の良さをこの先もずっと受け継いでいってほしいです。園の皆様のおかげで子どもたち

	も保護者も凄く穏やかな気持ちで登園出来ています。
	子どもの主体性を大切にしたいのびのびした保育をしてほしい 朱雀こども園で大切にしていたことをそのまま受け継いでほしい
	色んな事を教えてもらえて子供も成長しているのでこのまま変わらず教えてもらえるとありがたいです。
	一人一人を大切にしてくださる今の保育方針を大切に引き継いでいただきたいです。
	子ども、1人ひとりを大切にしたい保育
	子供に何を教えるとか
	大事な事は園児にも分かるように伝えてくれる。自分の事を好きになれる、相手のこと 思いやれる声かけや、関わり方を先生方の関わり方から伝わる場所。 自然の体験、植物・生き物を育てるとのこと。絵本や人形劇、遠足、運動会、制作 など、実際に体験して経験させてもらえる場所。
	お祈りや読経等、特定の宗教色を取り入れないままにしたい。
	のびのびと子どもたちを育ててくださる、今の園の方針を引き継いでいただきたいです。 合わせて、インクルーシブな保育をしていただきたいです。
	現在の朱雀こども園の「一人ひとりを大切にする日」等の人を思いやる気持ちを育てるカリキュラムや、子どもらしくのびのびと過ごす中で、社会性を身につけられるカリキュラムがとても良いから。
	子どもを見守りつつ自発性や成長を促す今の保育方針に共感している
	今までとかけ離れた方針だと困る。
	現状がどうかあまり知らないのですが、小学校までにひらがなやカタカナなど小学校で困らないようにしてもらえればありがたいです。英語など追加のカリキュラムがあればなお良いと思います。
保育士	現在の朱雀こども園の先生方は、子どもたち一人ひとりをよく見て、その日の様子や小さな変化まで把握してくださっていると感じています。 特に素敵だと感じているのは、同じクラスのどの先生に子どもの様子を尋ねても、子どもを見る視点に大きなずれがなく、共通した内容の話が返ってくることです。日頃から先生方の間で子どもの姿について話し、共有してくださっているのだと感じます。
	朱雀こども園の先生方は、子供達目線で丁寧に対応してもらってる印象があります。 この雰囲気と園のカラーは民間保育へ移行しても変わらないでいて欲しいです。

	これまでと同じ先生(保育士)の方が何人かは継続して居てくれる方が良いです。子ども親も安心感があります。
	ゆったりとした関わりや愛情豊かな環境構成ができるように、保育者の人数配置を奈良市公立園での基準を元に、整えて欲しい。 又、保育の質向上のために、休憩時間の確保や有休取得率向上、残業減少に努めてほしい。
	・子どもの思いを受け止める力 ・見守りながら支える力 ・環境を整える力 ・振り返り続ける力
	保育士さんの人数が確保されているのとお顔を含め名前や役割を保護者に公表して頂いている点
	現在いる保育士の雇用が継続されるようにしてほしい。
	若い先生やベテランの先生、男性保育士さんなど、様々な保育士さんと接することができることも園であってほしいです。
	新しい保育士ばかりだと子どもも慣れるのに時間がかかるためこれまで働いていた方が残ってくれれば嬉しい。
	保育に携わる際の留意点であったり、子どもへの関わり方等専門知識を理解し表現できる保育者であってほしいです。
	継続して出来事の申し送りをしっかりしてほしいです
	民間移行後、現在の体制となるだけ変化がないことを願います。 大きな環境の変化は何よりも子どもにとって大きな影響です。
	一人ひとりのことをよく見てくださっている。可能であれば今の先生方が少しでも多く残っていただけると親としては安心。
	今は経験豊富な先生方も多い印象なので、変わらず年齢層を広くとった保育士さん達に見ていただきたいです。
	一番気になるのが保育士の質です。 民営化になると質が下がるのでは、とまでは思いませんが、上の子ども下の子ども精神的に安定して園に通う事が出来ているのは、先生方が温かく接してくださっているからだと思っています。 民営化後に新しい先生ばかりだと雰囲気も変わり子供達も保護者も不安になりそう

	です。 どのぐらいの数の先生方が残ってくださるか分かりませんが、たくさんの先生方が残って頂けると嬉しいです。
	保育士の待遇が悪くなるようなことは避けてほしい
	若い先生から経験年数を重ねた先生等幅広い先生を配置してほしいです。
	先生が一気に変わるということが無いようにしてほしい。
	学年に全て知らない保育士に代わると保育士に子供が遠慮して相談できない
	出来るだけ今いる先生方に残って頂きたいです。
	朱雀保育園全体として、先生方がおおらかに子供を見守る雰囲気が気に入っていました。新しい保育園でも経験豊富な保育士を各学年にしっかり配置していただきたい。
	先生方の子どもに対する目線や声かけが、子ども自身の成長に繋がっていると実感している。
	子供が慣れている保育士に続投してほしい。
	移管後先生方が大幅に変わってしまうのが心配 今現在、園に非正規職員がどれだけいらっしゃるのか、どれだけ残るのかもわからないのが不安
	現在の保育士と同じようにすべての親と子どもの名前を覚えてくれて、子どもを大切に愛情を持って接してくれることを希望します。
	子どもたちにも顔見知りの先生たちがいてくださることが大切だと思います。日中過ごす園で安心して生活できるようにしてほしい。
	子どもを大切に丁寧な関わりをしてくれる保育士さんであってほしい
	できるだけ多くの先生に残っていただけるよう、格別な配慮をお願いしたいです。
	朱雀こども園のように、保育士の都合ではなく、子どもの気持ちや立場に寄り添える保育士さんを希望します。
	今までの先生たちが全員変更になることで子供達は困るのではないかと思います。
	子ども達が慣れ親しんだ先生方との触れ合い方や子どもへの指導方法の一貫性等を引き継いでいただきたい。
	非正規の先生方にできるだけ残って頂けると、子供達も親も安心できます。
	子供にさせるではなく、一緒に楽しんで関わってもらえるところ。

	本人の気持ちを尊重しながら、集団行動へ導いてくれたり、やりたい事に寄り添ってもらえるところ
	・公立園と違い、法人として経営するにあたり、園長や理事長等の経営者側が権力を持ちすぎて職員達が顔色を伺いながら保育をすることがないようにしてほしい。 ・一定の期間ごとに職員の異動があるようにしてほしい。
	朱雀こども園の先生方は、一人ひとりの発達に応じた丁寧な保育をしてくださいます。そして何より、子どもたちをととても可愛がって大切に育ててくださいます。移管後もここは一番大切にしていきたいです。
	持ち上がりや、兄弟のことも知ってくださっている先生がいると安心できるから。 公立ならではの、様々な特性を持った子どもの関わりが経験豊富な先生が多いと、困り感のある子どもも過ごしやすいと思うから。
	慣れ親しんだ先生が居ないと子ども・保護者共に不安 子どもの事をよく知ってくれている先生に見てもらいたい
	保育士さんの質が落ちると困る
	子供が急な環境変化を感じないように、保育士の急な入れ替えがないよう進めていただきたい。
	優しいだけでなく、いけないことはしっかりと叱っていただいて見守っていただけるような保育士さんだと嬉しいです。
	今の保育士さん達が良かったから そのままいてほしい 変わると不安しかない 特に民間のイメージが悪いから心配
保育環境 (園舎、園庭等の利用方法等)	スタッフががらりと変わってしまうと、子供が動揺するのではないかと思うので
	現在の朱雀こども園では、今ある園舎や設備の中で、先生方が子どもたちの生活や遊びを考えながら、さまざまな工夫をしてくださっていると感じています。 出入口の使い方や物の置き場所、子どもが遊ぶ場所（朝から砂場をほぐしたり、サーキットを設置したり）なども、その時の子どもたちの姿や年齢に合わせて工夫されており、限られた環境の中でも子どもが過ごしやすいように考えてくださっています。 また、子どもの年齢や興味に合わせて、おもちゃや教材を用意したり、先生方自身が工夫して遊びの環境をつくったりしてくださっていることもありがたく感じています。

	子どもにとって環境は、ただ安全に過ごすためだけのものではなく、自分から興味を持ち、遊びを見つけ、そこからさまざまなことを学んでいくための大切なものだと思います。 現在のように、子どもの姿を見ながら先生方が環境を工夫し、子どもが安心して生活し、遊び込めるようにしてくださっていることを、今後も大切にしていきたいです。
	子にとって安全に園舎、園庭を使わせて頂けるような運用が良いと考えます。
	高価な遊具、見栄えの良い遊具等を置くのではなく、現在のように子どもの安全を守りつつ自然を活かした園庭にしてほしい。
	安心できる環境 自分で選べる環境 人や物と関われる環境 発達に合った環境 安全で衛生的な環境
	夏場や冬場の空調設定など、子どもの体調を考慮した環境となるようにしてほしい。
	子ども達にとって安全で安心して過ごせる環境であってほしいです。
	危ない物、触ってはいけない物が子どもの手の届く所に置くことがないよう、安全面も配慮していただきたいです
	民間移行後、現在の体制となるだけ変化がないことを願います。 大きな環境の変化は何よりも子どもにとって大きな影響です。
	今の園庭が広くのびのび遊べているようなので、新しい園になっても体を使って遊べるスペースを広くとってもらいたいです。
	こども達が今までのように安心して、のびのび出来る環境を整えて頂きたいです。
	土や虫などの自然と触れ合える環境は維持してほしい
	安全にのびのびと思いっきり遊べる場を継続して提供してもらいたい。
	保護者に金銭的な負担が発生しても構わないので、今より良くなってほしい。
	園庭で植物を育てたり野菜を育てたり 毎日見れる環境を継続してほしいです。 プールも今のプールが大きくて楽しそうです。
	参観などに行きやすいこと
	保護者がカードで入館できるようにする等、現在の入退館セキュリティを改善してほ

	しい。また、園舎内に畑等を残し子供が野菜や花を育てる機会を作ってほしい。 今回の民間移管でどの程度既存の建物を改修する予定なのか不明であるが、すでに園舎が老朽化していると思うので本当は建て替えてほしい。せめて内装の改善や現在は廊下が外で豪雨時や寒い時期等子供が過ごしにくい（トイレに行きにくい）と思うので、屋内に廊下があるような園舎にしてほしい。
	在園児が困惑しないよう引き継ぎされると嬉しい
	古いままの設備や、代用で使っている設備などを見直して、清潔で新しい設備に置き換えて欲しい。
	園庭での遊びや野菜を育てること、いろんな虫を見つけることが本人たちの楽しみにもなっています。常に自然の生き物と触れ合える環境の継続を希望します。
	工事中も毎日安全に思い切り体を動かせる環境を確保いただきたいです。
	写真など、毎日何をやります。
	園庭があって欲しい
	棟が幼児棟に一本化されると聞いていますが、活動場所が少なくなることを懸念しています。特に地球沸騰化により、夏は猛暑日、酷暑日が増加することも予想され、室内での活動時間がさらに長くなってくると思います。ただでさえ、身体をいっぱい動かしたい時期の子どもたち。のびのびと身体を動かせる場所を確保していただきたいです。常設のサーキット、スヌーズレンなど、子どもたちが楽しく身体を動かしたり、ゆっくりリラックスできる場所を設けて欲しいです。 駐車場利用に関しては、移管後も今と同じように駐車場を確保して欲しいです。（行事時含む）
	今まで通り園庭でのびのび遊ばせて欲しい
	移管中の手続きや工事などで園庭などの園児の生活環境の制限がないように考慮いただきたい。
	園庭で遊んだりテラスで水遊するなど外での遊びも大事にしていただければと思います
	朝送って行く時、靴箱で見送ればいい点。わざわざ靴を脱いで保育室まで行かなくてよくて助かる。門があるので安全面も心配ない点。 一号認定のお迎えの時、同じ場所まで先生が連れて出てくれる点。同じくわざわざ靴を脱いで中まで入らなくて済んで助かっている。
	工事も不安だし

	乳児もまとめるとかなり キツキツで圧迫感
園行事	遠足、運動会、通常の参観や夏祭り参観、プール開き
	運動会や夏祭りなどは今までどおりやってほしい。
	仕事している保護者が多いので行事の回数等今くらいが良いなと思います。
	子どもが現状でも楽しく過ごしているので、移管後に質が落ちないようにしてほしい。
	季節毎に色んな行事、本当に有難いです。 そして、その行事の意味をわかりやすく教えて頂いて家に帰って来て私達にお話してくれます。私達も忘れていた事を思い出させてもらっています。
	基本的には、現状の行事ペースが好ましい。
	子供の成長をみられる大事な時間だと思うので、今と同じだけの行事は最低でも行ってほしい
	今の園行事と同じように親子で体験できるような行事が継続して行ってほしい。
	園行事は子供が楽しみにしていて出来なかった事が出来るようになったりと成長がたくさん見れるため。
	いつ、何時まで、何が必要など
	参観や運動会など
	今ある行事は基本的にそのまま引き継いで頂きたいです。
	大きな行事のほかにも体験教室や、お話し会、地域の交流、収穫体験など子供達の経験になるので、続けて欲しい。
	保護者の家庭での負担が今以上に増えないようにしてほしい。(持ち帰りでの制作物は基本的になし、弁当持参の日は遠足のみ等)
	行事が増えすぎると困る
	園児の思い出に残るような行事は継続していただきたい。
	毎月絵本の購入とか今までと違うことになったりしないのか 卒園の仕方も違ったり、など
保護者と園との かかわり	保護者会をつくり、行事などで保護者と職員で連携したり、保護者の声が届いたりできるようにしてほしい。

	現在もされているように、登園時に園長・副園長の門立ちをしてほしい。
	通常の参観や夏祭り参観を催して頂いた事で園での日常の子供の姿や先生の子供との関わり方を知る事ができました
	保護者と園とできちんとコミュニケーションが取れるようにしてほしい。
	今のこども園では、クラスの先生以外でもしっかり子どものことを把握されているなと感じます。お迎えの時に色々な先生が声を掛けてくださりとても安心できる環境なので、そういった部分を継承していただきたいです。
	色々な変更に伴い、こどもたちが不安にならないように連携を取りたい。
	園だよりなど今までと同じ感じで月1回でいいので保育園での子どもの様子がわかるお便りがあると嬉しいです。
	今のほうがスムーズだから
	園長先生はじめ担任の先生 色んな先生方が声をかけて下さり 園全体で保育して頂いてるのが本当に有り難く安心出来ます。
	話しやすい環境を今後もつくってくださると安心
	子供の事を一緒に考えてくれるので相談出来たり話せたりするのはありがたいのでこのまま続けてほしいです。
	些細なことでも、聞いてもらったり、伝えてもらえる話ができる関係。 直接会って、話す時間も大切にしてもらいたいです。
	送り迎えで、先生と気軽に話しできる環境が続くと、コミュニケーション、信頼感が安心できます。
	おたより、掲示物(ドキュメント)等を通して、子どもたちの様子をわかりやすく伝えてくださっているのも、その部分についても継承していただきたいです。あと、できれば連絡帳を通してのやりとりもできると有り難いです。
	保護者任せ、園任せではなく、共有しながら子どもを育てることが大切だと思う。
	今の先生方は細かい部分まで子どもを見てくれて尚且つ、伝達もしっかりしてくれるし、相談もしやすい 保育参観など園行事での関わりも楽しみにしている
	ベテランの先生もいなくなったり ちゃんと子供をみてるのか 共有してくれるのか”

	現在の朱雀こども園では、連絡帳（お帳面）や先生とのやり取りができるノートを通して、家庭と園で子どもの様子を伝え合うことができます。このやり取りをととても大切に感じています。 その日に園であったことや、できるようになったことを先生から教えていただき、家庭での様子や、親として感じていること、気になっていることをこちらからも伝えることができます。 特に乳児期は、まだ子ども自身が園であったことを詳しく話すことができないため、先生から日々の姿を教えていただけることが大きな安心につながります。連絡帳に積み重なっていく先生と保護者双方の言葉は、単なる連絡ではなく、子どもの成長と一緒に見てきた記録にもなっています。 また、子育てをしていると、子どもの行動や成長について不安になったり、「この関わり方でよいのだろうか」と迷ったりすることがあります。そのような時に、担任の先生に気軽に話を聞いていただき、家庭とは違う園での子どもの姿を教えていただけることに、これまで何度も助けられてきました。 家庭で見ている子どもの姿と、園で先生方が見ている子どもの姿を伝え合い、一緒に一人の子どもの成長を見ていける関係が、朱雀こども園の良いところだと思います。このような保護者と園との関係を、今後も大切にしていきたいです。
地域との連携	たけのこ掘り等、地域の方との関わりを無くさないで欲しい。 未就学児のキラキラランドで拝見した事がありましたが、地域の方が1ヶ月に1回の間隔でお話の会を開いて下さっているのは良いと思います。また別の地域の方が実験を見せてくれる機会を作ってくれているのも良いと思います。 地域と連携した見守りやあいさつ運動を継続してほしい。 公立ならではの地域の方々との関わりがあると思っております。 主要な関わりのあるところは残ると良いと思っています。 核家族が増える中、地域の方が子供達と関わって頂ける事、有難いです。 そして、筍堀り、さつまいも植えなど普段なかなか出来ない事を地域の方と一緒に出来る事すごく貴重で有難いです。 朱雀こども園は、地域の方や小中高との連携を多く実施していたように思います。子供たちが多様な年齢層の人と関わることは発達にとっても防犯面でも有意義だと思います。

	うので、できれば継続していただきたいと思う。
	地域の団体、ボランティア、学校などとの関わりによって、子どもがもっと広い社会について知るきっかけになっていると思うのです。
	筍掘りやお芋掘りなど地域の一部を借りて行っていることやお話会など子供が楽しみにしているので民営化されても続けてほしい
	地域の人と関わる事はなかなかないので子ども園で交流させてもらって子供達も喜んでいるので交流は続けてほしいです。
	たけのこ掘りやお話の会、実験教室、朱雀小・平城東中・奈良高との交流など
	小学校に行ってみたりする事は、次のステップがイメージしやすくいいと思う。 また地域の方から、昔の話を教えてもらったり、親世代より知っている事も多く、遊びや、お話しの中で、記憶に残る事もあり、いい経験になると思う。
	地域とのつながりを意識した取組みは継続していただきたいです。
	たけのこ掘りやさつまいも植え、読み聞かせ等これまでも様々な面でのつながりにより、貴重な経験をさせてもらっている。 又、地域の方々の目があることで、園自体に開放感があり、閉鎖的ではなくなり、質の良い保育、教育を受けることができる。
	具体的に地域とどんな関わりがあるのかは知らないが、散歩車でのお散歩や介護施設等への訪問等があるなら子ども達の経験のため、引き続き大事にしてほしいと思う
	地域の方がさつまいも掘りやたけのこほりを一緒にして下さるところ。この地域の豊かな自然と遊歩道もある、安心安全な環境が生かされていて良いので、このまま残して欲しい。
その他	アレルギー対応は変わらない水準でもらえるようにしたいです。 アレルギー食のある場合は昼食持参などに変更にならないようにしてもらいたいです。 発達支援なども今の市立の運営と同じようにしてもらいたいです。
	靴箱等に貼っていただいている自分のマークに愛着があるので、引き続き使わせてやってもらえたらと思います。
	・園指定の帽子、靴、制服、体操服等の指定物品の購入が新たに発生しないようにしてほしい。 ・気象警報発令時の対応は現在と同様にしてほしい。 ・休業日について、お盆、年末年始、年度末は現在と同様に預かりを実施してほしい。

	・仕事が休みの日でも平日は預かりをしてほしい。 ・園の名前は変えないでほしい。 ・オムツのサブスク、園での処分は今まで通り行ってほしい。 ・体調不良時のお迎え要請は現在と同じ基準にしてほしい。兄弟の誰かが発熱や感染症でも、他の兄弟は症状がなければ登園可能にしてほしい。
	子どもを丁寧に育てるためには、働く先生方の労働環境、条件等も整っていることが必須だと思います。子どもたちと先生方を大切にする法人さんであってほしいです。
	一号認定の預かり保育が充実しているところをそのまま残して欲しい。非常に助かっています。一月分まとめて申請できて、夏休みなどの長期休暇も同じ費用で預かっていただけて助かります。

2. 新たな希望等について

意見分類	意 見 内 容
教育・保育方針	こども園なので、もう少し教育にも力を入れてくれると嬉しい。
	変わらないで欲しい
	現0歳児さんの保護者さんの中には、朱雀の教育方針が良くて入園したご家庭もあると思うので、柔軟に考えていただきたい。
	民間に変更になることで習い事（英語や体操など）なども月1回とかでもできるようになれば嬉しい。色んな体験をさせてもらいたい。
	今と変わるのが心配。今はけっこううれしい。
	子ども一人ひとりを大切にする保育
	英語などの早期教育も取り入れることができるならしてほしい。
	現在の朱雀こども園で大切にされている、子ども一人ひとりをよく見て、その子の気持ちや発達を尊重する保育を継承したうえで、移管先法人には、その教育・保育方針を日々の具体的な保育にまで落とし込んでいただきたいです。
	奈良市内の保育園、認定こども園、幼稚園の教育・保育方針を拝見すると、「主体性を大切にする」「一人ひとりに寄り添う」「見守る」「自分で考える力を育てる」など、大切な理念を掲げている園が多くあります。

	しかし、理念や方針を言葉として掲げることはできても、それを日々の保育の中で継続して実践していくことは容易ではないと思います。だからこそ、どのようにすればその理念を実際の保育として実現し続けられるのかを、法人や園として真剣に考えていただきたいです。 例えば「主体性を大切にする」「見守る」ということも、単に子どもの好きなようにさせることや、大人がただ見ていることではないと思います。子どもの気持ちや発達を理解し、自分で考えたり、やってみたり、時には失敗したりする時間を保障しながら、必要な時には適切に支えることが大切だと考えています。 そのため、「どのような子どもに育ててほしいか」という理念だけでなく、「そのために大人は子どもをどのように見るのか」「どのような時に待ち、どのような時に支えるのか」といった、具体的な保育のあり方まで職員間で共有していただきたいです。 また、その方針が園長や一部の正規職員だけのものにならず、非常勤・短時間勤務の職員を含め、子どもに関わるすべての職員に共有されることを希望します。 研修を行うだけで終わるのではなく、日頃から子どもの姿について職員同士で話し合ったり、自分たちの関わりを振り返ったりしながら、「私たちの園では、この理念を実際の保育の中でどう実現していくのか」を考え続ける園であってほしいです。 ただし、共通した方針を持つことが、全員が同じ関わり方をするようになってほしいわけではありません。共通した子どもの見方や保育の土台を持ちながら、それぞれの先生の個性や気づきも生かされることが望ましいと思います。 また、教育・保育方針を保護者と共有する際にも、紙を配布して知らせるだけで終わるのではなく、可能な限り保護者と直接顔を合わせて、なぜその方針を大切にするのか、実際にどのような保育を行うのかを説明していただきたいです。 園側が一方的に方針を伝えるのではなく、保護者にも理解を求め、必要であれば質問や意見を交わしながら、園と家庭が同じ方向を向いて子どもの育ちを支えていける関係をつくっていただきたいです。 立派な理念を掲げることで終わらず、「どうすれば実際にできるのか」を職員と保護者も含めて考え、その理念が毎日の子どもへの言葉かけや関わり、環境づくりと
--	---

	して表れる園であってほしいと願っています。
保育士	今の幼児棟は男性保育士の方が多い気がします。申し訳ないが保育士さんは基本的に女性の方が安心できます。 あとは長年働いてくださっている保育士さんかわからないが、少し子供に対する当たりが強めな方がいるのも気になる。 今回新しい事業所さんによってその辺もしっかり指導見守りしていただけると安心します。
	できるだけ今の先生が残って欲しい
	これまでの朱雀こども園の良い歴史を大切に引き継げるような、保育者であってほしい。
	業務となる様な対応にならないで欲しい。
	配置基準通りで補助の先生が少ないと子供に向き合う良い保育ができないから。 先生がいっぱいいっぱいで子供にキツく当たるのが嫌だから
	引き継ぎをしっかりとお願い致します。
	現在の保育士さんが継続して勤務して頂ける事を望みます
	現在の朱雀こども園で感じている、子ども一人ひとりをよく見て理解しようとする先生方の姿勢を、民間移管後も大切にしていきたいです。 特に現在は、同じクラスのどの先生に子どもの様子を尋ねても、子どもを見る視点に大きなずれがなく、共通した姿について話して下さいます。その一方で、実際に関わった場面やそれぞれの先生の気づきによって、違った角度から子どもの姿を教えていただくこともあります。 このように、クラスや園として共通した子どもの見方を持ちながらも、画一的になることなく、それぞれの先生の感性や気づきも生かして子どもを多面的に見ていただけることを、移管後も大切にしてほしいです。 そのためには、個々の保育士さんの経験や力量だけに任せるのではなく、日頃から子どもの姿について職員同士で話し合い、共有し、相談できる時間や環境を園として確保していただきたいです。 また、保育の質は、子どもへの日々の言葉かけや関わり方に表れると思います。子ど

	もを大人の都合で急がせたり、不安や恐怖を使って行動させたり、食事や失敗などを理由に叱ることではなく、「なぜ今このような行動をしているのだろう」と子どもの気持ちや背景を考えながら関わることを大切にしていきたいです。 もちろん、すべてを子どもの好きなようにするという意味ではありません。危険なことや、人を傷つけるようなことについては大人がきちんと伝える必要があります。その際にも、ただ叱って行動を止めるだけではなく、子どもの年齢や発達に合わせて理由を伝え、どうすればよかったのかを一緒に考えられるような関わりを望みます。 そして、こうした保育の考え方が、園長や主任、経験の長い正規職員だけのものにならず、若い職員や非常勤・短時間勤務の職員を含め、子どもに関わるすべての職員に共有されることが大切だと思います。 研修を行うことはもちろんですが、一度研修を受けて終わりではなく、日々の保育の中で「今日のあの関わりはどうだったか」「この子は今何を感じているのだろう」と職員同士で振り返り、相談しながら保育をつくっていける職場であってほしいです。 また、保育士さん自身が困った時に相談でき、安心して働ける環境も大切だと思います。余裕がなければ、子どもの気持ちを丁寧に受け止めることも難しくなります。個々の保育士さんだけに責任を負わせるのではなく、園全体で支え合いながら保育の質を高めていける体制を整えていきたいです。 現在の朱雀こども園で感じている、先生方が子どものことをよく知り、職員同士で共有しながら、それぞれの視点でも子どもの良さや変化を見つけてくださる関わりを、民間移管後にも引き継ぎ、さらに大切にしていきたいです。
保育時間	今の時間より短くならないようにお願いしたいです
	保育時間が幅広くなればもっと仕事ができる
	早朝、夕方の延長時間は変わらずでお願いしたい。 又、延長料金も 30 分 100 円は変わらずが良い。 (兄弟が私立の小規模保育園を利用していた時は朝の延長がない、夕方は 18 時半以降 1 回 400 円の費用がかかり、公立園とはかなり差があった。)
	土曜日保育について需要は少ないとは思いますが、現状の継続もしくは 18 時まで受け入れ体制があればと思います。

	保育園時間が、延長含め、今より短くはならないようにしていただきたいです
	今の保育時間は最低限確保してほしい。
	お盆期間もカレンダー通りで、年末年始も年末遅くまで保育を実施していただいてとても助かっています。ぜひそのままの方針で継続してほしいです。
保育環境 (園舎・園庭の 利用方法等)	こども園の門周りが古くて出入りがしづらいので、オートロックをつけたり電子キーにしたり等新しく使いやすくしてほしい。 ベビーカーを使う保護者も多いので、そういう人も出入りしやすいと助かる。 今の門は門から出た後、3箇所も施錠するため歩道に出た我が子から目を離さなければいけないのが困っている。
	老朽化が進んでいそうなので遊具等は新調した方がいいと思う
	園庭開放の日数を増やしてほしい。 修繕可能なところはしてほしい。
	門はオートロックに。また、雨の日に廊下が水浸しにならないようにしてほしいです。
	園のすぐ横に自転車だけでもいいので停車スペースを作っていただきたい。 現在は駐車場までが遠いので不便です。
	明るい天井の高い園舎。玄関ホールに絵本や季節の物、ホッとできるスペースを作ってほしい。 ランチルームの設置など、異年齢児が交流の場所があったらうれしい。 保育士や親、子どもの動線を考えた保育室を希望します。 外遊びをたくさん取り入れてほしい。 散策や虫探しができる場所があったり、ゆっくりしたり、築山や砂場、のびのびと身体を動かせる園庭を希望します。
	出席欠席連絡、健康観察表等すべてアプリ（コドモン等）で完結できるようにしてほしい。 門の出入りが毎度大変なので子供が抱っこしたままでもスムーズに出入りできるようなシステムを導入してほしい（QR等）
	遊具の種類を増やしてほしい
	子供がより過ごしやすい環境にしてもらえるとありがたい。
	清潔感があり、綺麗な環境を作ってください。
	夏場の猛暑日が多く外遊びが難しくなっているため、室内に大きな運動できるスペースをとってもらえると嬉しいです。

	夏場の蚊対策 園舎が古くなってきているため、これの改修等により安全・安心な環境となることを期待。 跳び箱や鉄棒、縄跳び、アスレチックサーキットなど運動設備がもっとあると良い。お買い物体験やものづくり体験などのイベント機会（思い出に残るような経験ができる機会）を使ってほしい。 民間移管後、園舎の改修や建て替えを行う際には、単に建物を新しくするのではなく、子どもの生活や遊び、保育士さんの日々の保育を支える環境づくりを大切にしたいです。 以前、春日よつば保育園を見学したことがあります。春日よつば保育園も、公立の春日保育園から民間移管され、既存の園舎で保育を続けながら新しい園舎へ建て替えられた園です。 見学した際、子どもが食事に興味を持てるよう調理室がガラス張りになっていたり、送迎時に保護者が必要以上に保育室の中まで入らなくてもよい動線になっていたりするなど、建物そのものが日々の保育を支えるように考えられていることが印象に残りました。また、保護者も関わりながら園庭をつくっていく取り組みもされており、子どもと保育者だけでなく、保護者も園づくりに関わっていることを素敵だと感じました。 朱雀こども園でも改修や建て替えを行うのであれば、こうした既に民間移管を経験した園の事例も参考にさせていただきたいです。 特に、「子どもが家庭から保育の場へ安心して気持ちを切り替えられること」「子ども自身が生活しやすいこと」「保育士さんが無理なく子どもに関われること」という視点から、出入口や送迎場所、保育室、収納などの動線を考えていただきたいと思います。 現在も先生方が、出入口の使い方や物の置き場所などを工夫してくださっていますが、既存の建物の中でできる工夫には限界があります。保護者と離れにくい子どもがいる時にも、子ども自身が無理なく保育の環境へ入っていけるような空間のつくり方を考えていただきたいと思います。
--	--

	また、遊びの環境も大切にしてほしいです。 ままごとであれば、冷蔵庫やキッチン、食器など、普段の生活を再現しながら遊びを広げられるような、実物に近い質感や大きさを意識した安全性の高いものを置いていただきたいと思います。各年齢や発達に応じたおもちゃや素材を、子ども自身が選び、十分に遊び込める環境を整えてほしいと思います。 先生個人が用意してくださったおもちゃや教材によって、遊びの環境が豊かになることがあります。しかし、その先生が異動したり担任でなくなったりした時に、それらがなくなってしまうことがあります。 必要な保育環境を先生個人の私物や善意に頼るのではなく、年齢や発達に応じて必要なおもちゃや教材を園の備品として計画的に整えていただきたいと思います。 同時に、良いおもちゃを購入するだけでは十分ではないと思います。私自身、保育の現場で、良い教材やおもちゃがあっても、その特徴や遊び方、遊びの広げ方を職員が十分に知らないために、活用されなくなっている場面を見たことがあります。 そのため、新しいおもちゃや教材を導入する際には、必要に応じて外部講師や購入先の方から、そのおもちゃの特徴、年齢に応じた使い方、環境のつくり方などを学ぶ機会も設けていただきたいと思います。「物を購入すること」と「それを保育に生かせるようにすること」を一緒に考えてほしいと思います。 園庭については、乳児と幼児がそれぞれ安全に、十分に体を動かして遊べる環境を考えていただきたいと思います。 乳児と幼児が同じ場所、同じ時間に遊ぶ場合、乳児の安全に配慮するため、幼児が思いきり走ったり、大きく体を動かしたりすることが難しくなることがあります。一方、乳児にとっても、大きな子どもたちが走る中では安心して探索することが難しいと思います。 以前勤務していた園では、乳児と幼児で園庭を使う時間帯を分けていました。そのような時間による使い分けに加え、改修や建て替えを行うのであれば、乳児と幼児が必要に応じて安全に使い分けられるようなゾーニングも検討していただきたいと思います。
--	--

	ただ、運動会など園庭全体を広く使う場面もありますので、必ず固定した柵で区切る必要があるとは思いません。可動式の仕切り、園庭の配置、時間帯による使い分けなども含め、普段の安全性と、子どもがのびのび遊べることの両方を実現できる環境を考えていただきたいと思います。 建物、おもちゃ、園庭などの環境は、それ自体が目的ではなく、子どもが安心して生活し、自分から遊びを見つけ、十分に遊び込むためのものだと思います。 民間移管や今後の施設整備を、単に古い園舎を新しくする機会ではなく、「どのような保育をしたいのか」から逆算して保育環境をつくる機会にしていきたいと思います。
保育料以外の 費用負担	出費が少ないに越したことはない 費用を抑える為に、現朱雀こども園(公立)を選んだ保護者もいると思うので、公立園同等で抑える必要があると思う。 プライベートになると値段が変わるのかはあまり理解できなかった。 副食費も無償化にして、完全無償化にしてほしい。 お金がかかってもいいので、手書きの登園記録や、ダイヤル式の鍵のかかった門はどうにか改善していただきたい。 園での利用目的で本等の購入を強制される事は避けて頂きたいと思います。高価な制服や体操服等を揃える事は極力望みません。 外部講師を招いた定期的な英会話やプログラミング教室等はせず、現状を維持して欲しい。
給食内容	料金が高くなってもいいので、旬の野菜や地域の食材などを用いて栄養価の満たされた食事だといいなと思います。 公立園同等のアレルギー食を対応していただきたい。 自園調理で、子供がよく食べるメニューが多いと良いと思います。スプーン等は小学校のように、園の方で準備して頂けると助かります。 食育。自分たちで野菜を育て、食べる経験をさせて欲しい。 給食は、身体にいいものを提供してほしい。 できれば、奈良県の食材、旬のもの、添加物の少ないものを多く取り入れて欲しいです。 ユニバーサルプレート、陶器の食器の使用を検討していただきたいと思います。 自園調理なのが朱雀こども園にした理由のひとつでもあるので、外部委託ではなく自園調理を続けてほしい。

	今も美味しかった、など子供が話してくれます。 給食費は多少上がっても良いと思います。 子供達の栄養のために美味しいご飯とおやつをお願い致します。
	アレルギー対応の食事を増やしてもらえると嬉しいです。
	給食やおやつについては、子どもたちが食事を通して季節を感じられることを大切にしていきたいです。 旬の野菜や魚、果物など、その時期ならではの食材を取り入れ、季節の行事や日本の食文化にも触れられるような献立を作っていただきたいです。 また、できるだけ素材から調理し、出汁をきちんと取り、醤油やみりんなどの基本的な調味料を使って、素材そのものの味を感じられる食事を提供してほしいと思います。加工食品や化学調味料などに必要以上に頼らず、できるだけシンプルな材料で作られた食事を希望します。 朝の補食についても、菓子類などに偏るのではなく、できるだけ原材料がシンプルなものを選んでいただきたいです。 3 時のおやつについては、可能な限り園で手作りしたものを取り入れていただきたいです。おにぎり、蒸しパン、芋や季節の果物など、必ずしも華やかなものでなくても、子どもにとって安心して食べられる素朴なおやつで十分だと思います。 乳幼児期は身体の成長が著しいだけでなく、味覚や食習慣の基礎がつくられる大切な時期だと思います。だからこそ、給食やおやつを単に空腹を満たしたり必要な栄養を摂ったりするものとしてだけでなく、「食べることを楽しむ」「旬を知る」「素材の味を知る」といった食育の機会としても大切にしていきたいです。 例えば、今日使われている野菜を子どもが実際に見たり、調理する様子を知ったり、「今日は〇〇の季節だからこの料理なんだよ」と先生や調理員さんから教えてもらったりすることで、食事への興味も広がると思います。 栄養面や安全面、アレルギーへの配慮を前提としながら、子どもたちが毎日の給食を楽しみにし、食べることや食材そのものに興味を持てるような給食・おやつを大切にしていきたいです。 食器についても、食事をする環境の一つとして大切にしていきたいです。安全面や年齢への配慮をしたうえで、ユニバーサルプレートなどの陶器の食器や、木のお椀

	など、できるだけ実際の生活で使われる素材のものを取り入れてほしいと思います。 手に持った時の重さや手触り、温かさなど、食事の中でさまざまな素材を実際に手で触れて感じる経験も、乳幼児期には大切だと思います。
園行事	遠足であれば、毎年春も秋も様々な場所へ行けるので子供達も楽しみにしているから。 焼き芋パーティーや、各季節の集会も学びがあって、楽しめている。 今ある行事にプラスされる分には子供達は喜ぶと思います。
	後期にも参観日があると嬉しい
	園行事については、行事そのものを増やしたり華美にしたりするのではなく、入園・進級、春の遠足、運動会、秋の遠足、発表会、卒園式など、子どもの成長や季節を感じられる基本的な行事を大切にする、シンプルな形でよいと思います。 行事を充実させようとして、演出や制作物などを次々と付け加えていくと、子どもたちにとっても練習や準備の負担が増え、保育士さんにとっても、考えることや作ること、練習を進めることに多くの時間を使うことになります。 特に運動会や発表会は、完成度の高いものを保護者に見せることを目的にするのではなく、普段の遊びや生活の中で子どもたちが楽しんできたこと、できるようになったことが自然に表れるような行事であってほしいです。 運動会についても、大がかりな演出や長期間の練習を必要とするのではなく、子ども自身が体を動かすことを楽しみ、保護者も素直に応援できるような形が望ましいと思います。 発表会についても、全員が同じことを完璧にできることを目指すのではなく、それぞれの年齢や子どもたちの興味、日頃の遊びから生まれた表現を大切にしていきたいです。 行事のために普段の遊びや生活が大きく変わってしまうのではなく、日常の保育の延長に行事があることを大切にしてほしいです。 また、保育士さんが行事の制作や準備に追われるのではなく、その時間を普段の子どもたちとの関わりや保育の充実に使えることも大切だと思います。

	子ども、保護者、保育士さんの誰かが無理をして作り上げる行事ではなく、子どもの成長をみんなで喜び、素直に応援し、一緒に楽しめる行事を大切にしていきたいです。
保護者と園のかかわり	園児の様子(動画)や見学(参観)などの機会がよりあるといいなと思います。
	普段の園生活の様子をリアルタイムの配信などで見る事が出来ると嬉しいです。
	現在使われている連絡帳(お帳面)や、保護者と先生がやり取りするノートは、民間移管後も大切に残していただきたいです。
	欠席・遅刻・体調など、朝の連絡については、電子化することで通勤途中でも送ることができ、園にもすぐ伝わるなど、多くのメリットがあると思います。こうした日々の連絡について、便利な仕組みを取り入れることには賛成です。
	一方で、子どもの日々の姿や成長について先生と保護者がやり取りする連絡帳は、それとは少し役割が違うと感じています。
	その日に子どもに起きたこと、できるようになったこと、家庭での様子、保護者が感じたことや悩んでいることを書き、それに対して先生から言葉を返していただく。連絡帳は単なる情報伝達の手段ではなく、園と家庭と一緒に一人の子どもの成長を見てきた記録そのものだと思います。
	私にとって、その感覚は母子手帳にとってもよく似ています。
	母子手帳は、予防接種や健診の記録だけを残すためのものではありません。初めて話した言葉、初めてできるようになったこと、その頃好きだったこと、病気をしたこと、その時に親が心配していたことなど、子どもが育っていく過程が少しずつ積み重なっています。
	子どもが大きくなり、その時のことを忘れてしまっても、母子手帳を開けば「あの頃はこんなことで喜んでいた」「こんなことを心配していた」と、その時の子どもと自分にもう一度出会うことができます。だからこそ、母子手帳は用が済んだから処分するものではなく、いつまでも手元に残しておきたい大切なものになるのだと思います。
	連絡帳も、それと同じような存在だと感じています。
	先生が書いてくださった園での子どもの姿、保護者としてその時に感じていたことや悩んでいたこと、それに対して先生が返してくださった言葉が、一冊の中に積み重なっていきます。

そこには、子どもの成長だけではなく、その時に子どもを見ていた先生や親の気持ちも一緒に残っています。

朝、時間がなく急いで書いた文字。その日の子どもの姿を丁寧に伝えようと先生が書いてくださった文字。少し長く相談を書いた日や、それに先生が一生懸命返事をくださった日。その時に、その人自身が書いた文字がそのまま残ることにも、紙の連絡帳ならではの価値があると思います。

後からきれいにまとめられた成長記録ではなく、その時々の中で書かれた言葉だからこそ残るものがあります。

特に乳児期は、まだ子ども自身が園であったことを詳しく話すことができません。食事、睡眠、排泄、遊び、その日の機嫌や小さな成長などを先生と保護者が毎日共有することは、とても大切だと思います。

「今日はこんなことをして笑っていました」「初めてこんなことができました」という先生の言葉から、親が見ることのできなかった子どもの一日を知ることでもあります。そのため、乳児期の連絡帳については、できるだけ現在のような形を残していただきたいです。

幼児になり、自分で園での出来事を話せるようになってからも、子どもの前では話にくいことや、家庭で気になっていること、少し時間をかけて先生に伝えたいことがあります。そのようなことを個別に先生へ伝えられる連絡帳やノートのような手段も残していただきたいです。

電子化そのものを否定するものではありません。

実際に電子化された園を利用した保護者から、退園や卒園をすると記録を閲覧できなくなったり、データを保存できる期間が短く、十分に残すことができなかったという話を聞いたことがあります。

デジタルには検索しやすい、すぐに届く、写真を共有しやすいなどの良さがあります。一方で、子どもの成長記録がサービスの利用終了とともに見られなくなってしまうのであれば、とても残念に思います。

もし今後デジタルの仕組みを取り入れる場合には、保護者が希望すれば、在園中に積み重ねた子どもの成長記録を卒園後も確実に手元に残せる方法についても、十分に考

	えていただきたいです。 そして、連絡帳だけではなく、先生と直接話せる関係も大切にしていきたいです。 子育てをしていると、「この関わり方でよいのだろうか」「最近のこの様子はどう考えればよいのだろうか」「家ではこうだけれど、園ではどうなのだろうか」と、不安になったり迷ったりすることがよくあります。 そのような時に担任の先生に話を聞いていただき、園での子どもの姿を教えていただいたことで、これまで何度も安心することができました。 家庭から見えている子どもの姿だけでは分からないことも、先生から「園ではこんな姿があります」と教えていただくことで、「この子にはこんな一面もあるんだ」と気づくことがあります。反対に、家庭での姿を園に伝えることで、先生方が子どもを理解するための一つの材料になることもあると思います。 保護者が「こんなことを聞いてもいいのかな」とためらわず、子どものことについて気軽に相談できる雰囲気を、民間移管後も大切にしていきたいです。 ただし、それを特定の担任の先生個人の負担に頼るのではなく、必要に応じて職員間で共有したり、主任や他の先生にも相談したりしながら、園全体で保護者の相談を受け止められる体制があることも大切だと思います。 保護者と園の関係が、単に「園から家庭へ知らせる」「家庭から園へ連絡する」という一方通行のものではなく、 「家庭ではこんな姿があります」 「園ではこんな姿があります」 と互いに伝え合いながら、一緒に一人の子どもの成長を見ていける関係であってほしいと思います。 そして、そのやり取りが連絡帳という形でも残り、何年か後に親子で振り返った時に、「あなたが小さい頃、先生はこんなふうにあなたを見てくれていたんだよ」と伝えられるような記録になっていくことを、私はとても大切にしたいです。
地域との連携	—

その他	幼児もコットベッドにする等布団の持ち帰りがないようにしてほしい。
	欠席や登降園の時間の連絡、健康観察の記入や給食キャンセル等すべてアプリからできるようにしてもらいたいです。
	駐車場の設置（無料）
	子ども一人ひとりを大切にしていきたいです。
	園舎での課外保育(習い事のような)があれば、子どもたちにとっても、保護者にとってもいいのかなと思う。
	保育部分利用の希望者に対して、習い事（ダンスや体操、英語等）を導入してほしい。
	選択制で園で習い事が出来ると嬉しいです。
	簡単な読み書き、計算をするような取り組みが定期的にあると良いかと思います

3. その他の移管先法人選定にあたってのご意見について

意 見 内 容
移管先は非常に重要です。保護者が選べるようにしてほしい
地域に受け入れられる、柔軟性のある法人が望ましいと思う。
公立園を取って選んで通わせています。気象警報発令時の保育の実施、休業日、体調不良時のお迎えの基準等、奈良市としての決まりや基準も考慮した上で現在の園を選んでいます。そのため、奈良市としての基準や決まりがあることに関しては現在と同じようにしてほしいです。
不思議な移管先にだけはならない様にして欲しい。校舎改修がどれくらいの規模で、期間がどれくらいなのか、分かり次第知りたい
子どもを真ん中にした保育を望みます。これだけは切に願っています。
とにかく今いらっしゃる先生方の負担が少しでも良くなれば良いと思います。子どもの人数が減少しているのは寂しいですが、このこども園に通えていて本当に良かったといつも思っています。
園舎の工事時に平行して保育が発生する期間があると思うが、保育に適した環境は確保できるのか（粉塵や騒音の影響はないか）、安全はどのように担保するのか工事前に余裕をもって保護者に対して説明をしていただきたい。
今の朱雀こども園に満足しています。安心してお願い出来、子供も毎日楽しく過ごしています。出来るだけ今のまま 子供達が楽しく 親が安心して保育をお願い出来る様をお願いします。

保育園の体質は子供の命に直結することなので、適切に選択して頂けるようお願いします。
園を良くしたいと思っておられる法人。
こども園の運営経験が長く、法人としての経営状況も安定している法人を希望。
子ども達のことを第一に考えた配慮をお願いします。在園児においては、工事の音、先生の交代など環境の大きな変化にさらされる事になります。最大限の配慮やサポート体制をしていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
移管前の 3 ヶ月間の引き継ぎ保育では、4 月から(移管後)の学年担当等を決めてから行い、詳しく引き継ぎして丁寧に関われるようにして欲しい。
移管先法人を選定する際には、書類に書かれている教育・保育理念や方針だけではなく、その法人が実際にどのような保育を行っているのかを、できる限り現場まで見て判断していただきたいです。 私は子どもの園を決める際、保護者として 10 園ほどの保育園、認定こども園、幼稚園を見学しました。また、今回改めて奈良市内の園の教育・保育方針についても調べました。 多くの園が「子どもを大切にする」「主体性を大切にする」「一人ひとりに寄り添う」「見守る」といった素晴らしい理念を掲げています。しかし、実際に園を見学してみると、同じような理念を掲げていても、日々の保育や子どもへの関わり方には違いがあることを感じました。 子どもを急がせるために「早く来ないとお化けが来るよ」と不安にさせるような言葉を使っている場面や、食べないことを叱る、好ましくない行動をした子どもを外に出すといった関わりを目にしたこともあります。 一方で、子どもの気持ちを考え、なぜそのような行動をしているのかを理解しようとしながら、丁寧に関わっている園もありました。 綺麗な言葉や立派な理念を掲げることはできます。 しかし、本当に大切なのは、それを毎日の保育の中で実践し続けられているかどうかだと思います。 そのため、移管先法人の選定にあたっては、法人から提出される書類や説明だけで判断するのではなく、可能であれば、その法人が現在運営している園を実際に訪問し、普段の保育の様子を見ていただきたいです。 子どもたちがどのような表情で過ごしているのか。保育士さんが子どもにどのような言葉をかけているのか。泣いている子や困っている子、失敗した子にどのように関わっているのか。職員同士がどのように連携しているのか。 そうした日常の姿を見ることで分かることは多いと思います。 また、園長や主任だけでなく、正規職員、若い職員、非常勤・短時間勤務の職員など、実際に子どもと関わるさまざまな立場の職員にまで、その

法人の教育・保育に対する考え方が共有されているかも大切にしていきたいです。

そして、現在の朱雀こども園で大切にされている保育を「引き継ぎます」と言うだけではなく、現在の先生方がどのように子どもを見ているのか、どのように職員間で子どもの姿を共有しているのか、保護者とどのような関係を築いているのかを、丁寧に知ろうとしてくださる法人を選んでいきたいです。

民間移管は、運営する法人が変わるだけではなく、子どもたちにとっては毎日生活する場所に関わる大きな変化です。特に移管時に在園している子どもたちにとって、大人の事情によって、それまで安心して過ごしてきた環境や人との関係が急に変わってしまうことがないようにしていきたいです。

民間だからこそできる新しい取り組みや改善については期待しています。しかし、新しいことをたくさん取り入れる法人であることよりも、まず「今の朱雀こども園の何が大切にされているのか」を理解してくださることを望みます。

残すべきものは残し、そのうえで、子どもたちにとってより良いものを丁寧に加えていける法人であってほしいです。法人の規模や知名度、設備、特色の多さだけではなく、実際の子どもへのまなざしや日々の保育を、最も大切な基準の一つとして移管先法人を選定していきたいです。

そして可能であれば、選定の過程や「なぜこの法人を選んだのか」についても、保護者に分かるように説明していきたいです。

保護者の不安や疑問にも丁寧に向き合いながら、子どもたちを一番に考えた民間移管を進めていきたいと思います。